

# 2018 SGH通信

【2年生配布用】

No.11 岐阜県立大垣北高等学校 SGH推進部

いよいよ、日本語論文の作成が始まります！！

## ■9月ゼミ授業 今後のスケジュール

月	日	曜	時限	内 容 等
8	29	水	1~6	◆「論文作成シート」の作成
9	12	水	1~6	◆「論文作成シート」の完成、ゼミ内意見交換

### ゼミ授業の目的

7月は、大学教官から専門的見地に基づく指導を受けることで、生徒個々が研究を進化させることを目的としてきました。

9月以降は、大学教官からのアドバイスはありませんので、ゼミ担当の北高の教員及びゼミメンバーと探究活動を進めていきます。その中で、研究領域の近似した仲間の研究内容・研究方法に学んで、自らの研究に応用することを目的とします。

### 【ゼミ指導の内容について】

#### 論文作成シートの入力

◇最低限、以下の6点について、書き込みを完了することを目標にしよう。

- ①論文タイトル、②アブストラクト（論文要旨）、③研究の目的、④リサーチクエスチョン、⑤RQに対する仮説（「私はこう考える」（＝仮の結論）、⑥結論

#### ゼミ内意見交換

◇ゼミ指導では、ゼミメンバー（「ゼミ教員」「ゼミの仲間」）に②④⑤⑥を中心に、④⑤「3つのリサーチクエスチョン」のWhat, Why, Howが論理的に成り立っているか、そしてその内容を受けて⑥結論に妥当性があるかを読んでもらい、その後アドバイスを受けます。

- ◆ 8月29日（水）、9月12日（水）の「SGH課題研究2」（4時間）で、「論文作成シート」の完成をします。9月12日の2時間目に、ゼミ内で相互読み合わせができるように準備してください。
- ◆ 「大学教官」から紹介していただいた論文や書籍、または、図書館、CiNiiなどの論文検索サイトから入手した資料を読み、10月からの日本語論文作成に向けた準備をしてください。

平成26年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

◇2年生の論文では、インターネット資料のみを根拠として書くことは不許可です。

ゼミ内で読み合わせる際の評価項目を掲載します。

読み合わせの参考にしてください。

項目	不十分な状態(1)	やや不十分な状態(2)	やや満足いく状態(3)	満足いく状態(4)
論文要旨	内容が分かりにくい。	手引きの例にならったのみの内容である。	手引きを踏まえ、簡潔にまとめられている。	論文の筋道が分かりやすくまとめられている。
研究テーマ	アジアの持続可能性に関する意識が不十分。	アジアの持続可能性に関する意識がやや弱い。	アジアの持続可能性を意識。	アジアの持続可能性を十分意識。
課題意識(研究目的)	明確な課題意識が持てていない。	課題意識を少しが持っている。	課題意識が明確で、独自の着眼点を持つ。	課題意識が明確で、深いある研究目的である。
リサーチクエスチョン(RQ)	What/Why/Howの形が取れていない。	What/Why/Howの形は取れている。	What/Whyを意識したHowが立てられている。	各問いに深みがあり興味深いRQである。
仮説	各RQに対する仮説が立てられていない。	仮説はあるがRQに対応していない。	RQに対応した仮説が立てられている。	十分に考えられた仮説が立てられている。
研究の見通し	現状ではなすべきことが見えていない。	現状を理解するため、情報収集や分析をしている。	複数のケースを持ち、現状ですべきことを見ている。	過程が明らかであり、現実性の高い計画ができています。

9月の最大の目標は、論文の構想を練ることです。

シートへの入力だけに力点を置かず、書籍・論文研究をしっかりと行って、10月からの論文作成に臨んでください。

グループで読み合わせる時間を取ることができれば最高ですが、グループの進度に合わせて、個人探究の時間が必要と判断した場合は、書籍講読等を優先してください。